

後期高齢者医療保険の被保険者の方へ 人間ドックを受けてみませんか？

市では、後期高齢者医療保険の被保険者の方を対象に人間ドック費用を助成しています。
保険料の未納がある場合は受診できません。また、人間ドックを受ける方は「ぎふ・すこやか健診」の受診はできませんので、ご了承ください。

コース		定員	健診料（自己負担額）
半日ドック	胃カメラ検査あり	35人	17,280円
	バリウム検査あり		16,200円
	胃検査なし	15人	11,020円
半日ドック (子宮がん・乳がん検査あり)	胃カメラ検査あり	15人	20,250円
	バリウム検査あり		19,710円
	胃検査なし	5人	13,990円
脳ドック		70人	19,490円
肺がんドック		10人	15,330円

※表中の健診料は、半額助成後の金額です。

健診期間 12月～平成29年3月

健診日は年度後半に決定し、後日病院から申込者へ郵送で通知されます。

健診までしばらく時間がかかる場合やご希望の日程に添えない場合がありますのでご了承ください。

場 所 市立総合病院

申込方法 7月中旬に送付する「後期高齢者医療保険料の決定通知書」に申込書を同封します。希望する方は必要事項を記入の上、**9月30日(金)【当日消印有効】**までに、郵送または市民課保険年金係もしくは支所に直接提出してください。電話での申し込みはできません。申し込み多数時は抽選により決定し、抽選結果は10月中旬に申込者全員に通知します。

問 ▷申し込みや人間ドックの内容について…市民課保険年金係（内線133）

▷健診日について…市立総合病院（☎2111・内線2703）

地震による電気火災対策を！ 感震ブレーカーを設置しましょう

■地震が引き起こす電気火災とは？

地震の揺れに伴う電気機器からの出火や停電が復旧したときに発生する火災のことです。阪神淡路大震災や東日本大震災では、電気器具の転倒による火災や停電後の電気復旧時に火災が発生する通電火災が多発しました。原因が特定された火災のうち過半数が電気関係の火災でした。

■感震ブレーカーとは

感震ブレーカーとは、地震の揺れを感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に配線用ブレーカーまたは漏電ブレーカーなどを遮断する器具をいいます。一般的なブレーカーは漏電には対応していますが、地震による火災には対応できません。

感震ブレーカーにはさまざまな種類があり、取付方法や機能が異なります。各家庭にあったものを設置して、電気火災を防止しましょう。



問 消防本部（☎0119）または南消防署（☎0119）